

令和6年4月15日

国土交通省関東地方整備局

鹿島港湾・空港整備事務所

令和6年度 鹿島港湾・空港整備事務所の事業概要について

～茨城港常陸那珂港区中央ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業が新規事業採択～

鹿島港湾・空港整備事務所では、鹿島港及び茨城港常陸那珂港区を整備するため、令和6年度においては、別添の事業を実施します。また、茨城港常陸那珂港区中央ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業が令和6年度予算新規採択事業となりました。

1. 鹿島港については、近年の貨物船の大型化等に対応するとともに大規模地震に対する耐震性能を有する新たな国際物流ターミナルを整備しており、令和6年度は、防波堤（南）の基礎工とケーソン据付工及び防波堤（中央）のケーソン製作工等を実施する予定です。
2. 茨城港常陸那珂港区については、北関東地域の玄関口として経済・交流活動を支える重要な港湾であり、北関東自動車道の開通も相まった海上輸送需要の増大に対応するため、国際海上コンテナターミナル及び国際物流ターミナルを整備しており、令和6年度は、防波堤（東）の基礎工とケーソン据付工及び中央ふ頭地区岸壁（水深12m）のケーソン製作等を実施する予定です。

また、現状強いられている滞船や他港への横持ち等の非効率な輸送形態を解消するとともに、作業機械等の貨物需要に対応し、地域作業の国際競争力強化を図るため、中央ふ頭地区国際物流ターミナルの整備に着手し、令和6年度は中央ふ頭地区岸壁（水深14m）の調査・設計を実施する予定です。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、
茨城県政記者クラブ、物流専門紙

<問い合わせ先>

関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所

TEL：0299-84-7712 FAX：0299-84-0057

副所長 三浦 幸治（みうら こうじ）

第一工務課長 中川 勝栄（なかがわ かつえい）

鹿島港外港地区国際物流ターミナル整備事業

R6年度事業費：10.0億円

【茨城県】直轄

事業の概要

鹿島港は国内有数の鹿島臨海工業地帯の原材料や製品の輸送基地として発展し、東関東内陸部の玄関口としての重要な物流機能を担っています。近年の貨物船の大型化に対応し、円滑な物流を確保するため、新たな国際物流ターミナルを整備しています。

また、洋上風力発電設備の効率的な輸送・建設を可能とし、洋上風力発電の導入促進を図るため、重厚長大な洋上風力発電設備の荷役が効率的で安全に実施できる岸壁(基地港湾)の整備として、地耐力強化や航路・浚渫等の港湾施設の整備を行います。

令和6年度予定

- 防波堤(南)の基礎工、ケーソン据付工等を実施する予定です。
- 防波堤(中央)の基礎工及びブロック据付、ケーソン製作、ブロック製作等を実施する予定です。

事業の効果

- 防波堤の延伸を行うことにより港内の静穏が保たれ、岸壁での荷役作業効率が向上します。
 - ターミナルの整備により大型船によって一度に大量の貨物輸送が可能となり、海上輸送コストの削減が可能となります。
 - 岸壁(水深14m)の耐震化により、大規模地震発生後も緊急物資等の輸送拠点として機能します。
 - 岸壁(水深12m)を整備することで、鹿島港外港地区における洋上風力発電関連貨物の取扱いが可能となり、海上輸送コストが削減されます。
 - 地耐力強化によりプレアッセンブリ(仮組立て)が可能となることで、SEP船(自動昇降式作業台船)への部材積込量が増加し、基地港湾～海上建設サイトの運航サイクル数が減少することで、海上輸送コストが削減されます。
- また、洋上風車設置箇所での風力発電設備荷役作業が効率化され、荷役コストが削減されます。



茨城港常陸那珂港区外港地区国際海上コンテナターミナル等整備事業

R6年度事業費:9.7億円

【茨城県】直轄

事業の概要

茨城港(常陸那珂港区)は北関東地域の玄関口として経済・交流活動を支える重要な港湾であり、北関東自動車道の開通も相まって海上輸送の需要が増大しています。コンテナ貨物量等の増加に対応し、円滑な物流を確保するため、新たな国際海上コンテナターミナル等を整備しています。

令和6年度予定

○防波堤(東)の基礎工、ケーソン据付工、上部工等を実施する予定です。

事業の効果

- 防波堤の延伸を行うことにより港内の静穏が保たれ、岸壁での荷役作業効率が向上します。
- 茨城港常陸那珂港区におけるコンテナ等取扱能力の向上が図られます。
- 北関東地域の企業が茨城港常陸那珂港区を利用することで、効率的な海上輸送が可能となります。



いばらきこう ひたち なか こう くこくさいぶつりゅう せいび じぎょう
茨城港常陸那珂港区国際物流ターミナル整備事業

R6年度事業費:1.0億円

【茨城県】直轄

事業の概要

茨城港(常陸那珂港区)は北関東地域の玄関口として経済・交流活動を支える重要な港湾であり、北関東自動車道の開通も相まって海上輸送の需要が増大しています。北関東地域に立地する自動車メーカーの完成自動車の増産に対応し、円滑な物流を確保するため、新たな国際物流ターミナル(水深12m)を整備しています。

令和6年度予定

○岸壁(水深12m)のケーソン製作工を実施する予定です。

事業の効果

- 完成自動車取扱台数の増加と自動車運搬船の大型化に適切に対応することにより、北関東地域からの完成自動車の海上輸送コストの削減等が可能となります。
- 完成自動車や部品等含めた広範な関連産業における国内生産機能の維持・拡大に寄与します。



いばらきこうひたちなかこうちゅうおうとうちくこくさいぶつりゅうせいびじぎょう
茨城港常陸那珂港区中央ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業

R6年度事業費: 1.0億円

【茨城県】直轄

事業の概要

茨城港(常陸那珂港区)は北関東地域の玄関口として経済・交流活動を支える重要な港湾であり、北関東自動車道の開通も相まって海上輸送の需要が増大しています。直背後や北関東地域に立地する産業機械メーカー等の貨物需要に対応し、地域産業の国際競争力強化を図るため、新たな国際物流ターミナル(水深14m)を整備しています。

令和6年度予定

○岸壁(水深14m)の調査・設計を実施する予定です。

事業の効果

- 産業機械等の輸出増加に適切に対応することにより、北関東地域からの建設機械等の陸上輸送コストの削減等が可能となります。
- 裾野の広い建設機械産業の生産体制の確保が図られることで、雇用を含めた地域全体の活力向上に寄与します。
- 耐震強化岸壁を整備することにより、被災時においても海上輸送が可能となり、社会・経済活動を維持することが可能となります。

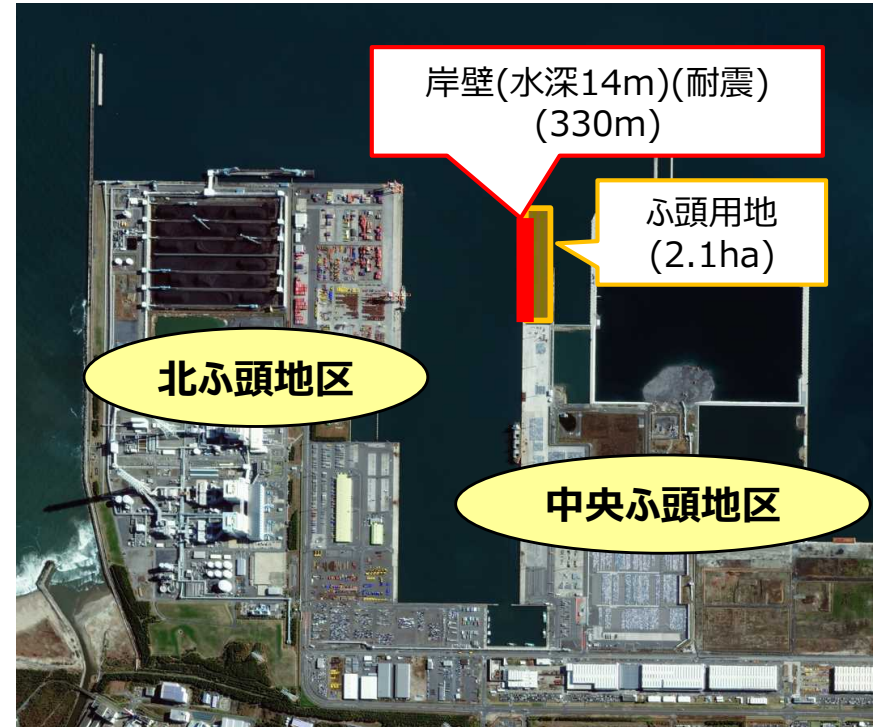


【事業の目的】

現状強いられている滞船や他港への横持等の非効率な輸送形態を解消するとともに、産業機械等の貨物需要に対応し、地域産業の国際競争力強化を図るため、茨城港常陸那珂港区中央ふ頭地区に国際物流ターミナルの整備を行う。

【事業の概要】

- ・整備施設：岸壁(水深14m)(耐震)、ふ頭用地
- ・事業期間：令和6年度～令和12年度
- ・総事業費：160億円（うち港湾整備事業費105億円）



【整備スケジュール】

地区名	事業区分	施設名	全体数量	単位	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
常陸那珂港区中央ふ頭地区	直轄	岸壁(水深14m)(耐震)	330	m	[黒塗り]						
	起債	ふ頭用地	2.1	ha	[黒塗り]			[黒塗り]			

